

CABLINE®-CAL

Part No. PLUG: 20728-0**T-#1, Receptacle: 20729-0**E-##

Instruction Manual

5	S25357	September 3, 2025	R.Hatano	T.Tanigawa	H.Ikari
4	S21049	February 3, 2021	S.Yamaguchi	T.Tanigawa	H.Ikari
3	S20613	November 25, 2020	T.Tanigawa	T.Kurachi	Y.Shimada
2	S20057	January 24, 2020	S.Yamaguchi	T.Kurachi	H.Ikari
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

弊社製コネクタ CABLINE-CAL を安全に御使用頂くことを目的とし、コネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

【対象コネクタ名称・型番】

◆ケーブル側コネクタ

名称： CABLINE-CAL Plug

型番： 20728-0**T-#1

◆基盤側コネクタ

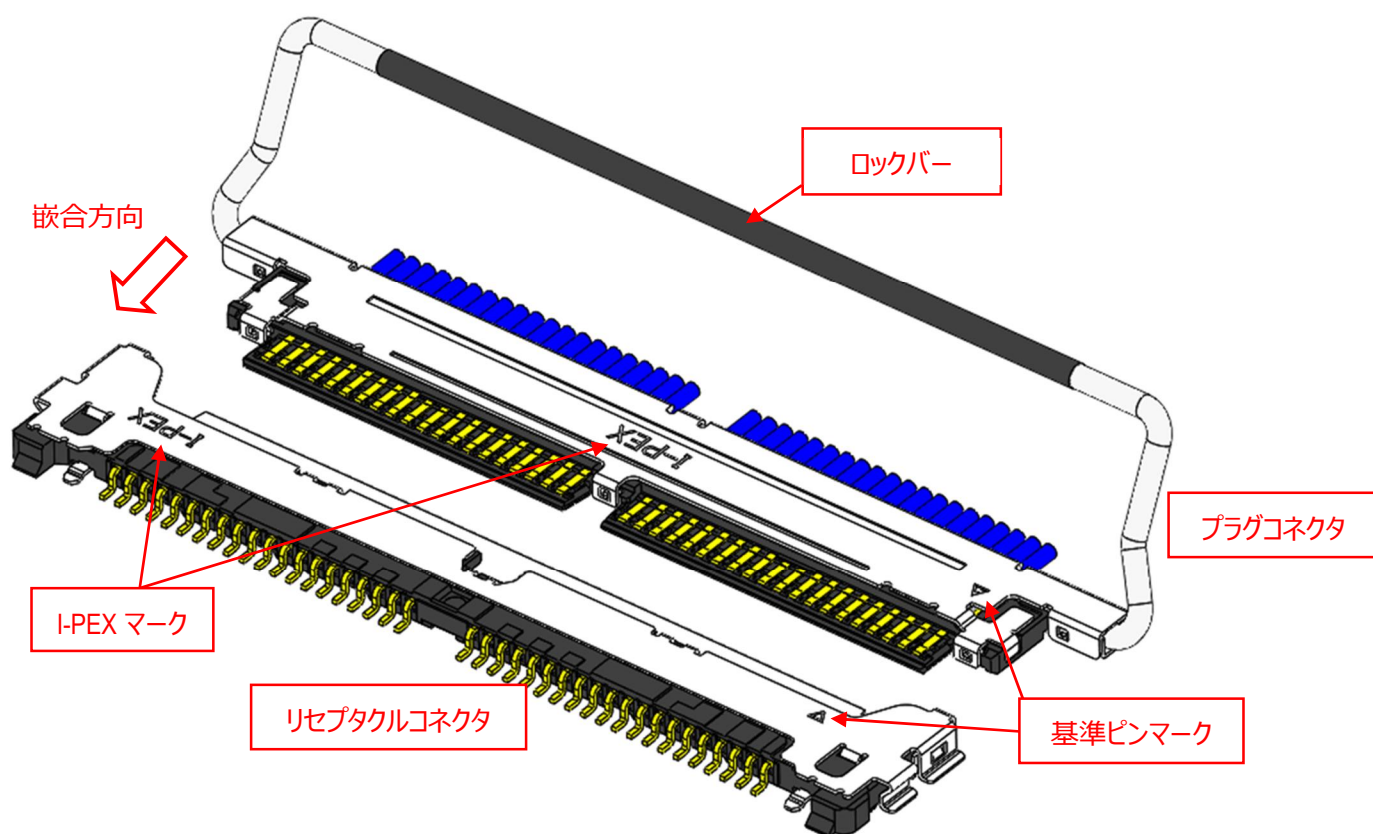
名称： CABLINE-CAL Receptacle

型番： 20729-0**E-##

“ ** ”には各芯数番号が入ります。

“ # ”はバリエーションになります。詳細は図面を参照願います。

【コネクタ各部名称】



【コネクタ挿入手順】

- ① 図 1 の様に、ロックバーをプラグコネクタの I-PEX マーク側に回転させる。

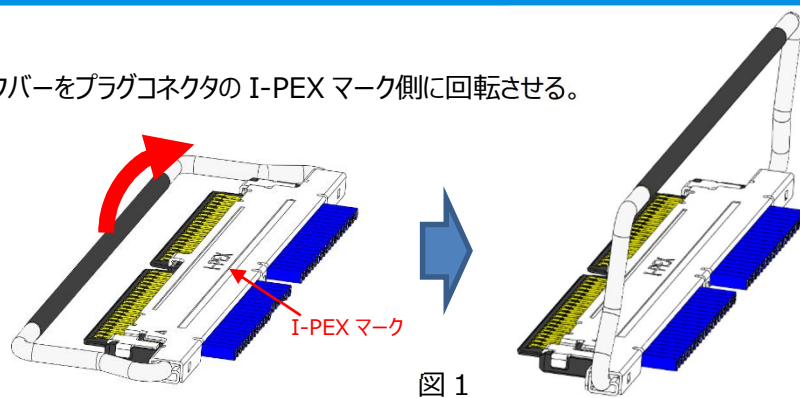


図 1

- ② 図 2 の様に、リセプタクルコネクタとプラグコネクタの基準ピンマークが向き合うようプラグコネクタの向きをセットする。

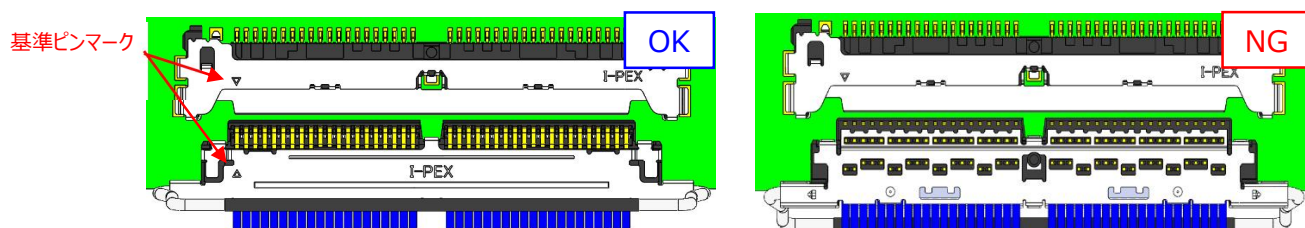


図 2

- ③ プラグコネクタをリセプタクルコネクタに仮挿入する。

製品高さ方向の挿入角度は図 3 の様に 8° 以内とし、図 4 の様にプラグコネクタがリセプタクルコネクタに対し平行になるよう、仮挿入を行う。

※ 仮挿入の際はプラグコネクタの両サイドがリセプタクルコネクタにラップするまでは挿入方向に過度な荷重は加えないで下さい。

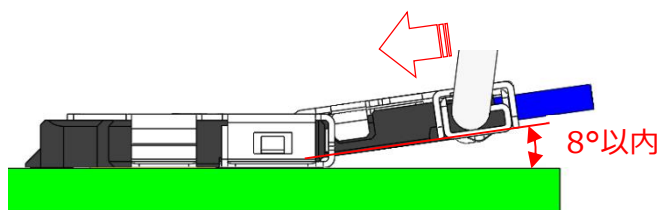


図 3

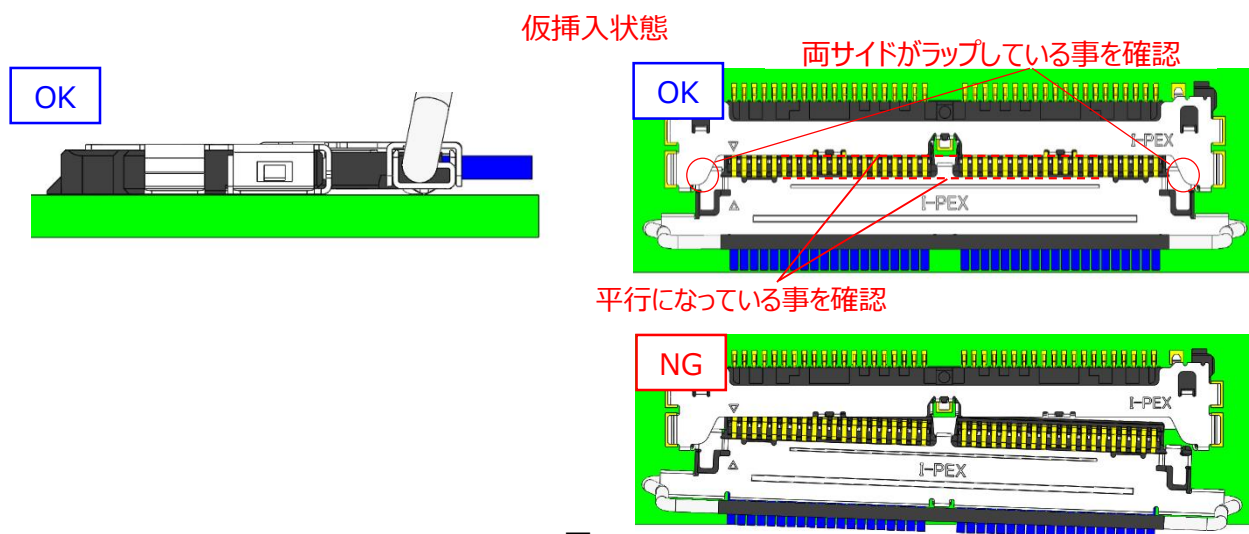


図 4

<注 1>

仮挿入が NG の場合は、手順③をやり直して下さい。

④ プラグコネクタをリセプタクルコネクタに本挿入する。

図 5 の様に、プラグコネクタの両端を同時に水平に押し、プラグコネクタとリセプタクルコネクタの隙間が無いか確認する。

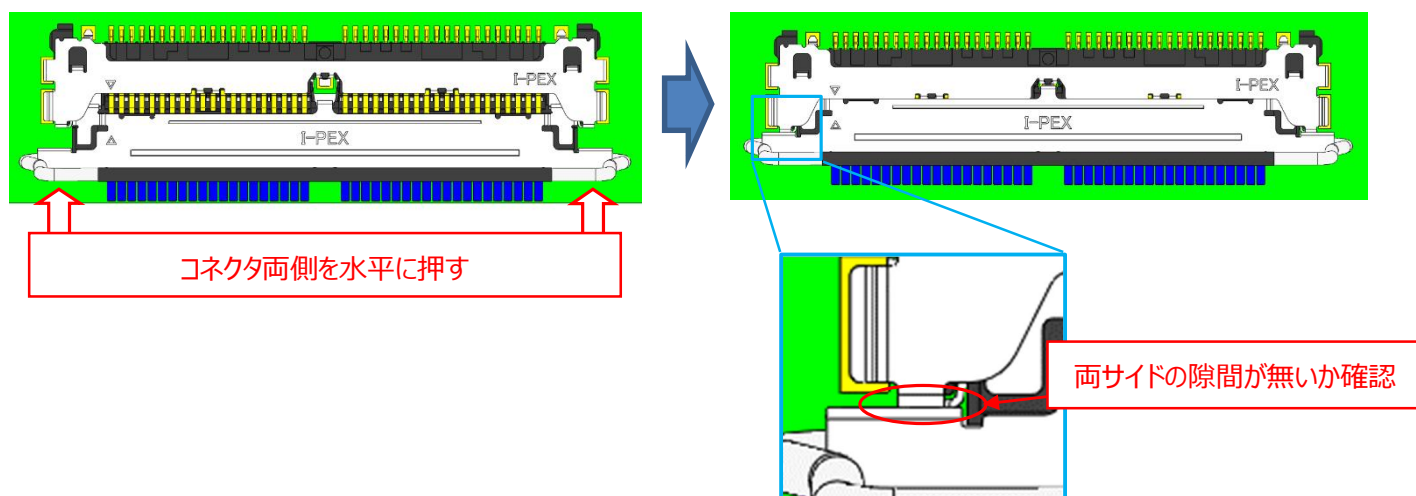


図 5

<注 2>

図 6 のように中央部のハウジングが潰れていると、コンタクトが正常に接触していない可能性があります。

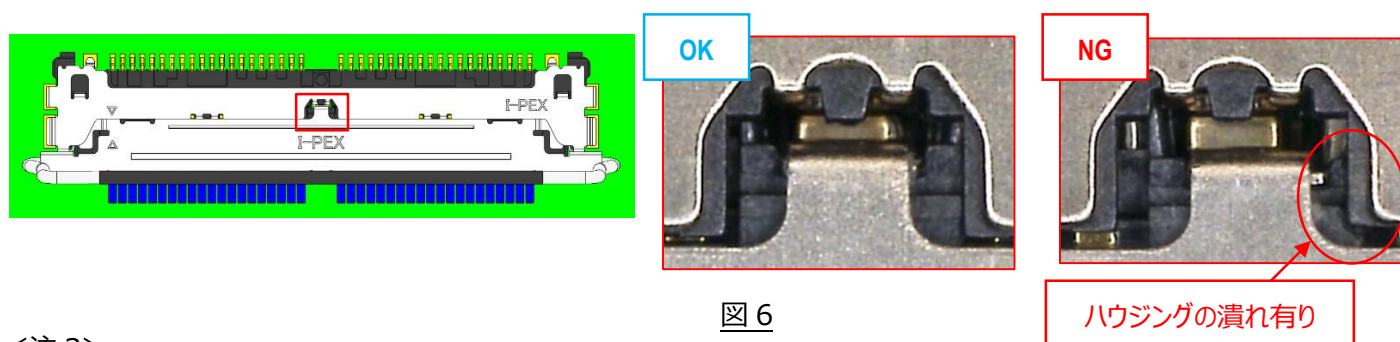


図 6

<注 3>

片側ずつ押すと、図 7 の様に嵌合不完全になる恐れがあります。

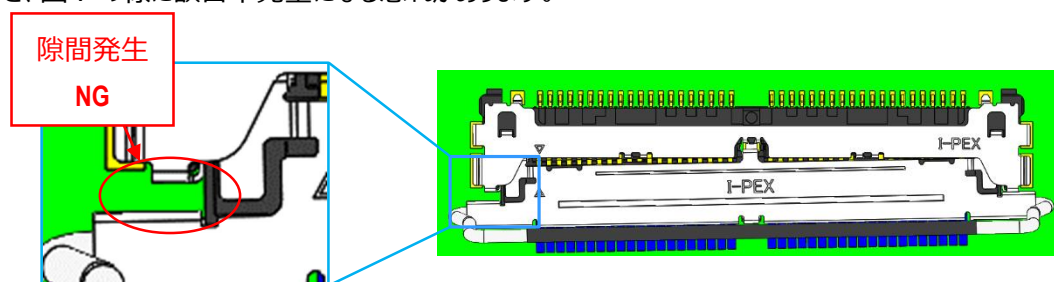


図 7

<注 4>

図 8 の様な状態から挿入しないで下さい。コネクタが破損し、不導通となる恐れがあります。

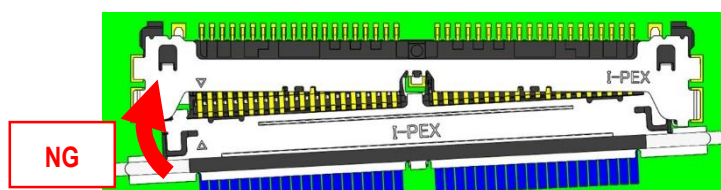


図 8

<注 5>

図 9 のように、仮挿入していない状態からリセプタクルに差し込まないでください。コネクタが破損する可能性があります。

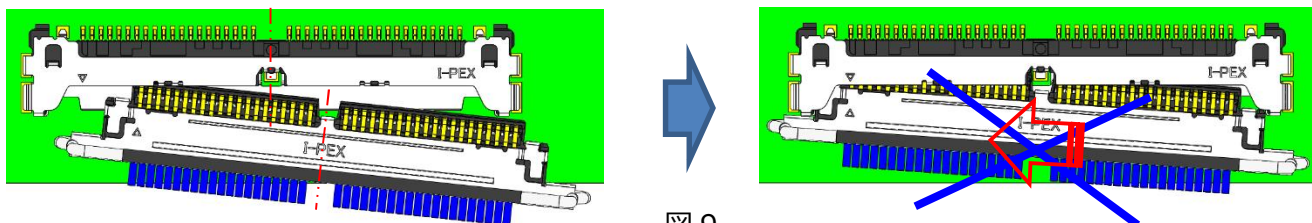


図 9

<注 6>

ロックバーを押しながらの挿入は行わないでください。

ロックバーの変形及びコネクタ破損の原因となります。

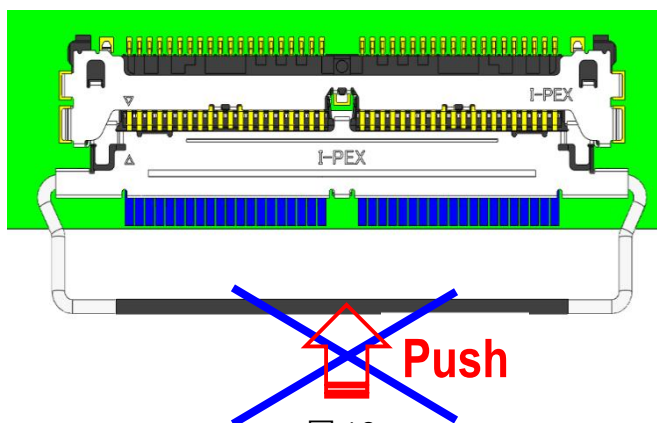


図 10

<注 7>

プラグコネクタに基板方向の力を掛けながらの挿入は行わないでください。

基板に傷が入り、パターンの断線及びショートの原因となります。

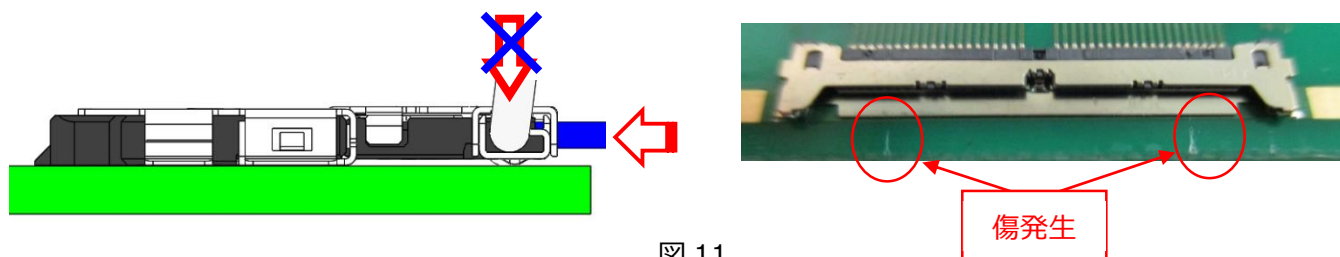


図 11

- ⑤ ロックバーを回転させ、下図○部を基板側へ押し込み、リセプタクルコネクタのシェルとロックさせる。

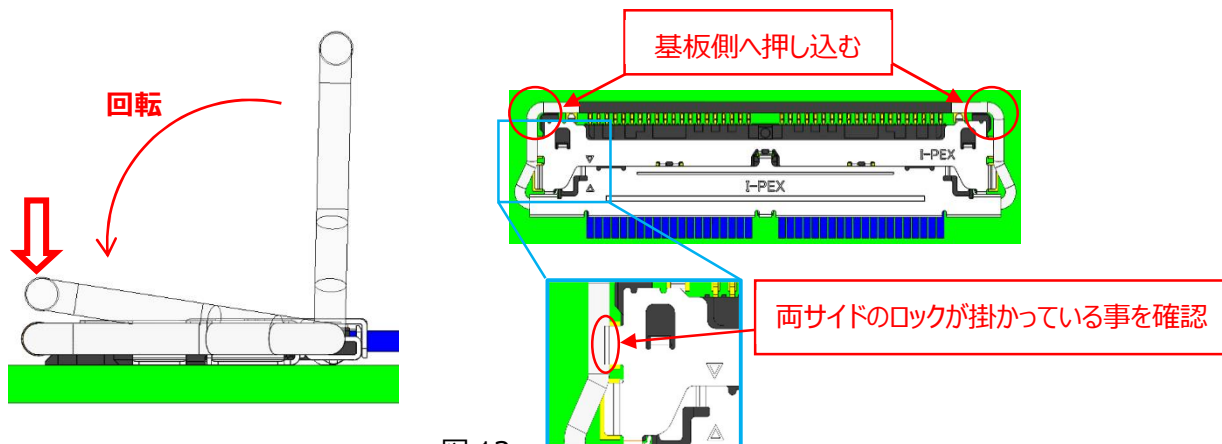


図 12

【挿入 JIG】

PLUG を挿入する際、正しく挿入し辛い場合、下図形状の様な JIG (図 13) を御使用下さい。

<挿入 JIG 形状(参考)>

(mm)	A	B	C	D	E	F
FOR 30P	19.00	13.00	18.20	19.50	21.50	14.00
FOR 40P	23.00	17.00	22.20	23.50	25.50	18.00

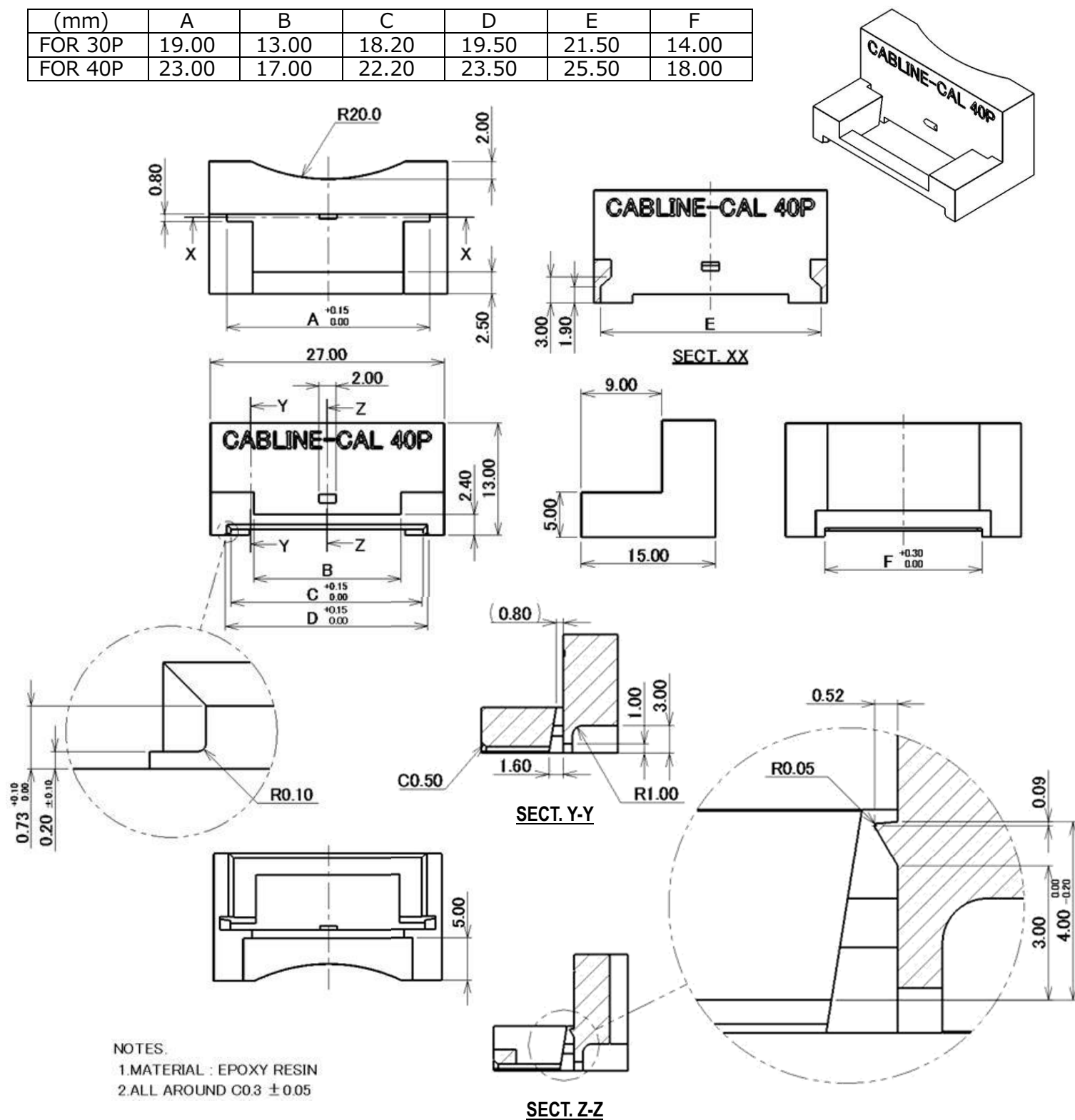
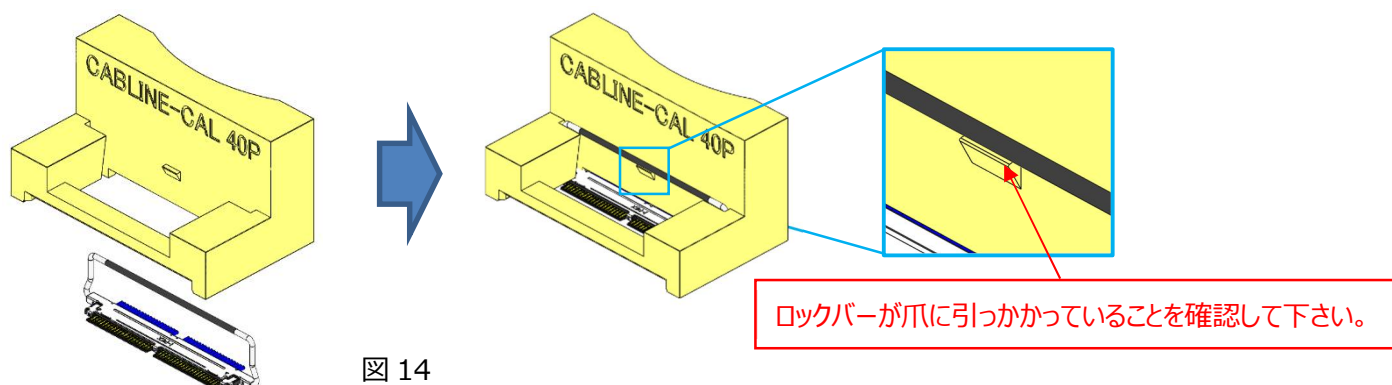


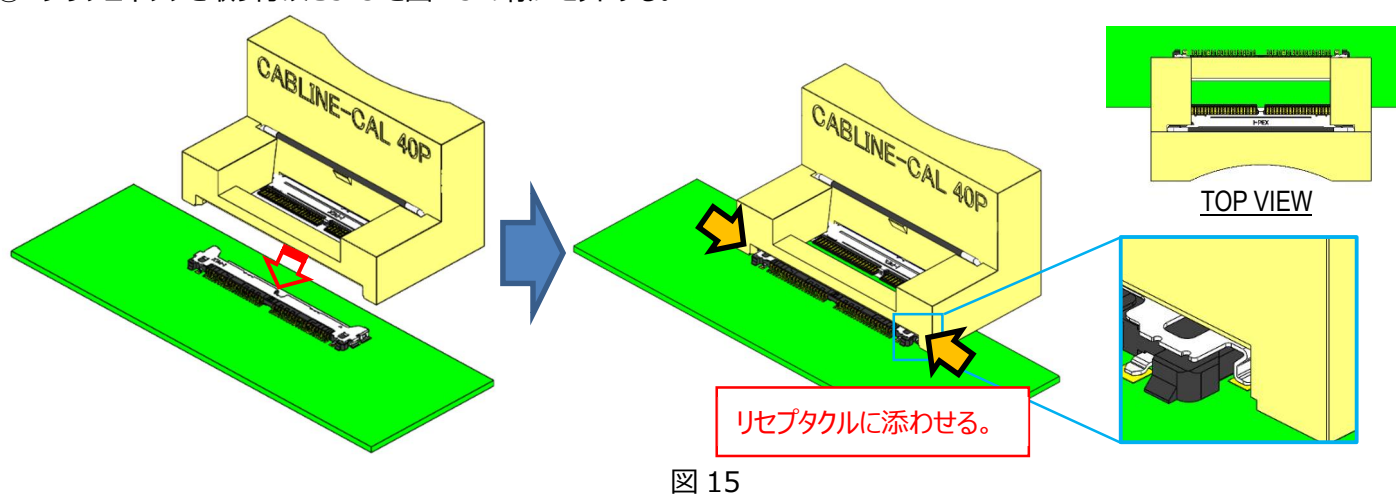
図 13

<挿入 JIG 使用方法>

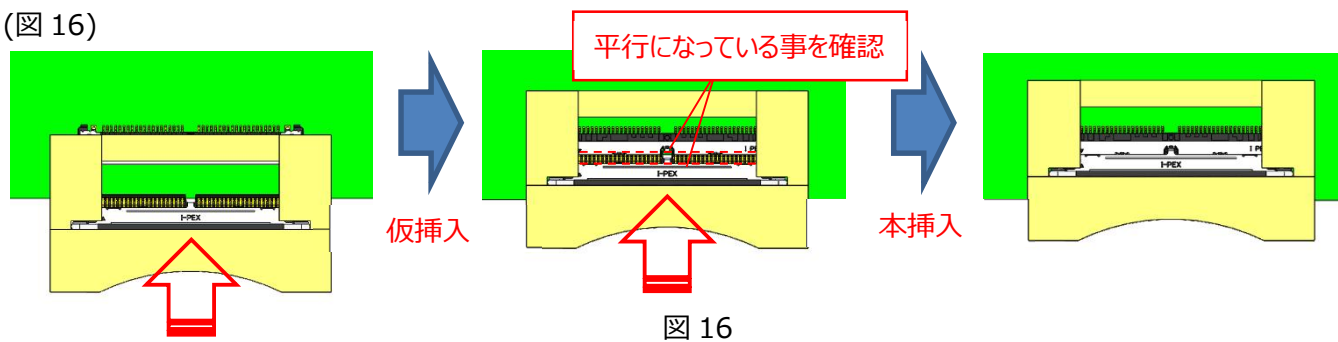
- ① ロックバーを垂直に立て、上から JIG を装着する。(図 14)



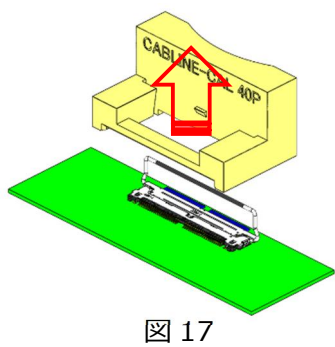
- ② プラグコネクタを取り付けた JIG を図 15 の様にセットする。



- ③ JIG を水平に押し仮挿入し、プラグコネクタとリセプタクルコネクタが平行になっている事を確認した後、コネクタを嵌合する。(図 16)



- ④ 図 17 の様に JIG を垂直に取り外す。



【コネクタ抜去手順】

- ① ロックバーの下図○部を反基板側へ引き上げてリセプタクルコネクタとのロックを解除し、ロックバーを回転させる。

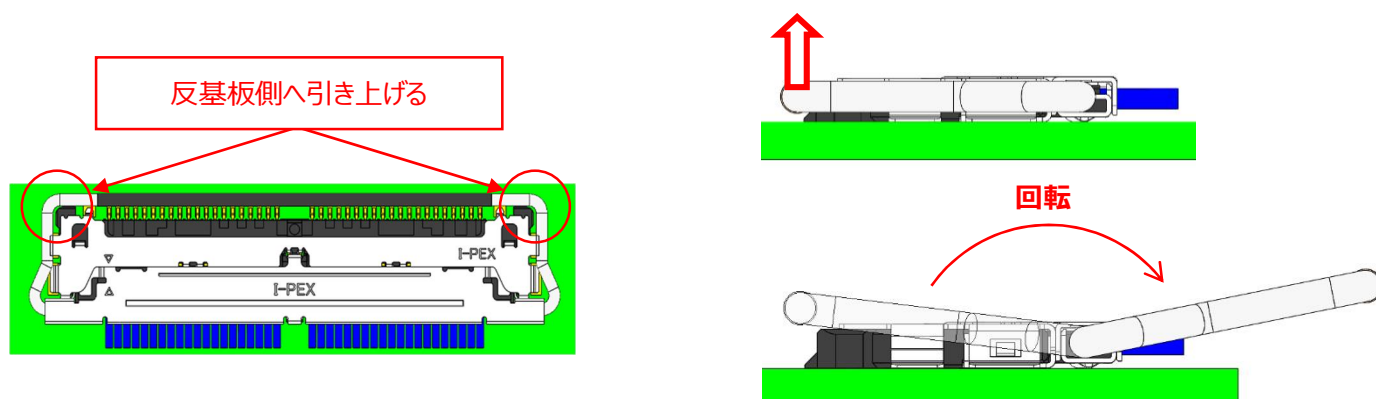


図 18

<注 8>

ロックバーの絶縁コート部を引き上げてのリセプタクルコネクタとのロック解除は行わないでください。
 ロックバーの絶縁コートが傷付き、リセプタクル端子とロックバーがショートする恐れがあります。
 また、ロックバーの絶縁コート部を抜去に使用すると、ロックバーが変形する
 可能性がありますので、抜去に使用しないでください。

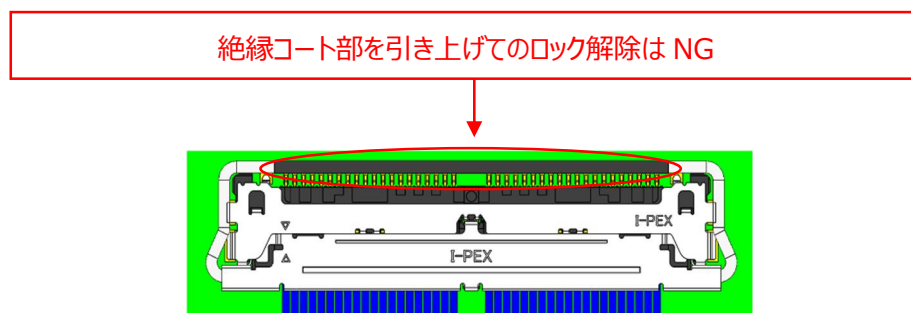


図 19

- ② 抜去の際は、図 20 の様にプラグコネクタの両側を水平に引っ張ってください。

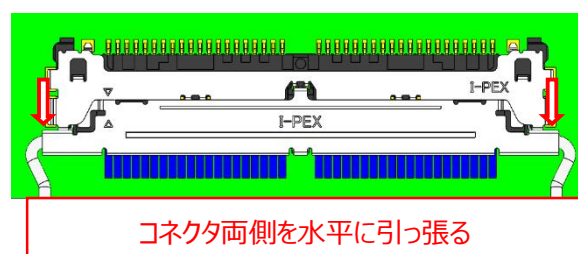


図 20

<注 9>

プラグコネクタをリセプタクルコネクタに対して斜めに抜去しないで下さい。

抜去中もプラグコネクタが斜めにならないように、両端を水平に引き抜いて下さい。コネクタ破損に繋がる恐れがあります。

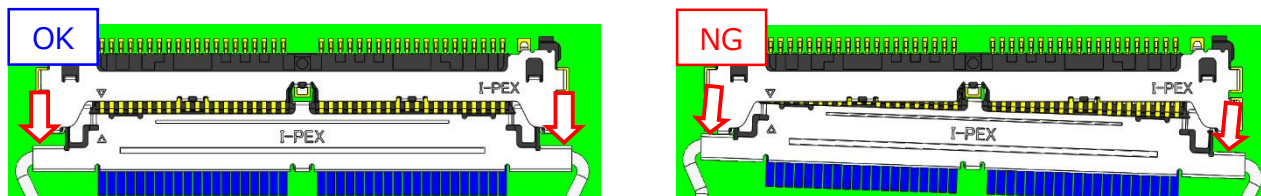


図 21

<注 10>

ケーブルを引っ張っての抜去は行わないでください。

ケーブル断線の原因となります。

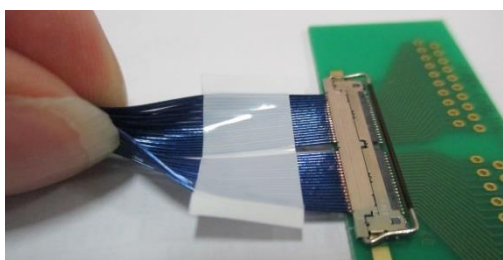


図 22

<注 11>

ロックバーを引っ張っての抜去は行わないでください。

ロックバーの変形及びコネクタ破損の原因となります。

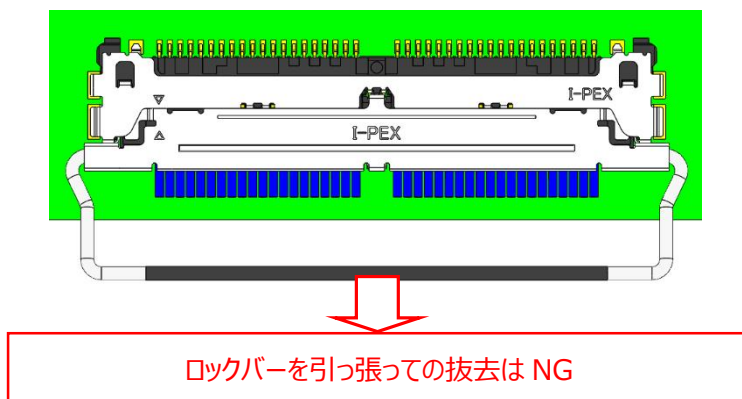


図 23

<注 12>

プラグコネクタに基板方向の力を掛けながらの抜去は行わないでください。

基板に傷が入り、パターンの断線及びショートの原因となります。



図 24

【コネクタ取り扱いにおける注意事項】

- ① コネクタ嵌合状態にて、プラグコネクタのケーブル及びロックバーを垂直方向に引っ張らないでください。
リセプタクルコネクタの変形の原因となります。

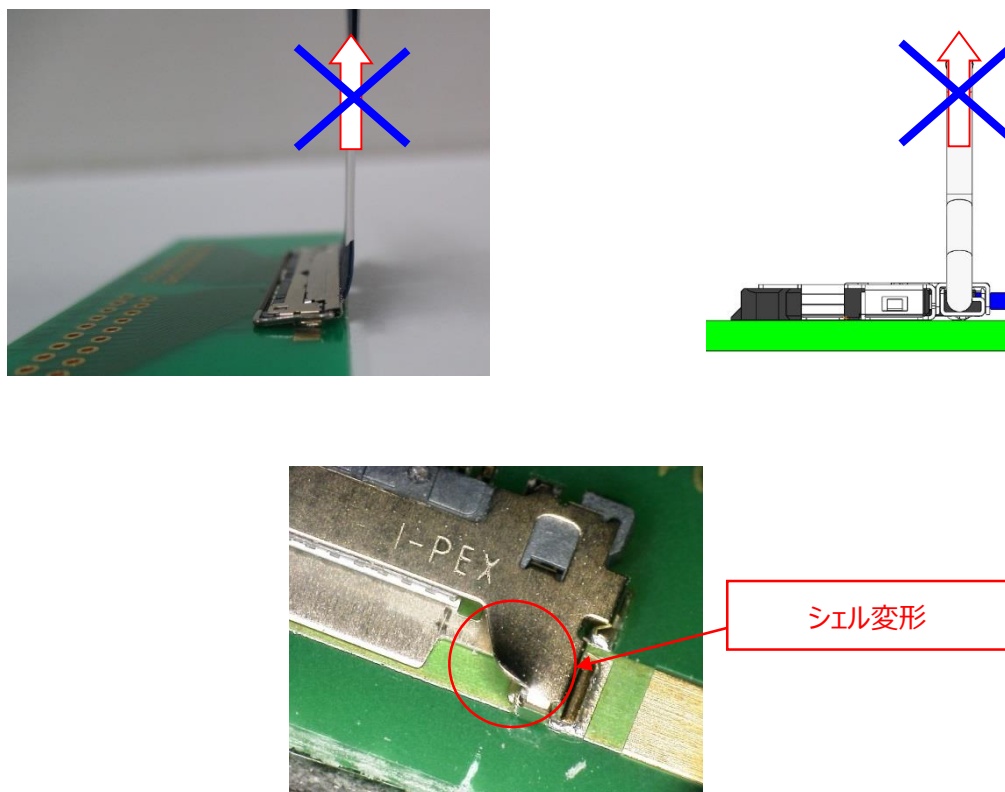


図 25

- ② ケーブル引き回しの際は、コネクタ及びケーブルに過大な力が掛からない様、ご注意願います。
コネクタ破損及びケーブル断線の原因となります。
常にコネクタに力が掛かるようなケーブル引き回しは、ご遠慮願います。嵌合不良及びコネクタ破損の原因となります。

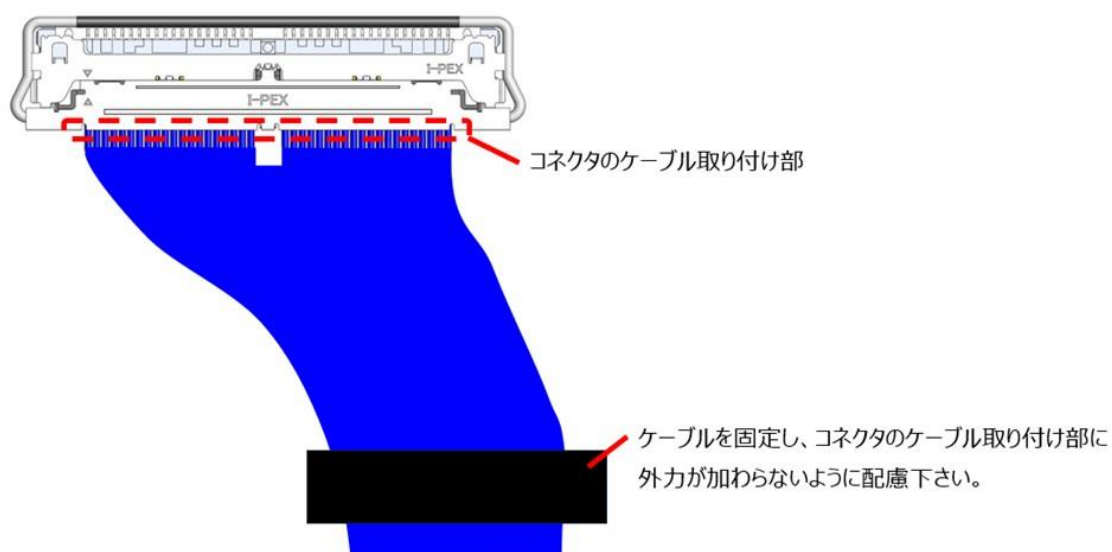


図 26